

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

北見市中心市街地のにぎわいの再生  
(事後評価)

北海道北見市、北海道

平成29年2月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）事後評価書

平成29年3月7日

計画の名称	1 北見市中心市街地のにぎわいの再生																												
計画の期間	平成22年度～平成27年度（6年間）				交付対象	北見市、北海道																							
計画の目標	<p>新たな文化施設、生活関連サービス施設の導入や宿泊施設の立地により、新たな来街者が増えることが予想される。来街者が増えることにより、商業、業務ビジネスが活性化し、市民や来街者の満足度を高めオホーツク圏の中核都市として、活力あるまちづくりを推進し、まちなかの賑わいを図る。</p> <p>中心市街地の特色を生かしたまちなか居住施策を推進するとともに、都市医療、福祉機能、住環境、交流機能等を集積、整備することにより、暮らしやすい居住空間を提供するとともに、まちなかの賑わいを図る。</p>																												
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>週末歩行者通行量</li> <li>居住人口</li> </ul>																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 中央大通等における週末歩行者通行者数を測定する。</td> <td>7,573人/日</td> <td></td> <td>7,800人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② まちなかにおける居住人口を調査する。</td> <td>4,422人</td> <td></td> <td>4,500人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)	① 中央大通等における週末歩行者通行者数を測定する。	7,573人/日		7,800人/日		② まちなかにおける居住人口を調査する。	4,422人		4,500人	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)																										
① 中央大通等における週末歩行者通行者数を測定する。	7,573人/日		7,800人/日																										
② まちなかにおける居住人口を調査する。	4,422人		4,500人																										
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,052百万円	A	6,989百万円	B		C	63百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.89%																			
○事後評価の実施体制、実施時期	<table border="1"> <tr> <td>事後評価の実施体制</td> <td>事後評価の実施時期</td> </tr> <tr> <td>北見市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに従って評価</td> <td>H29年3月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>公表の方法</td> </tr> <tr> <td></td> <td>北見市ホームページ</td> </tr> </table>											事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	北見市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに従って評価	H29年3月		公表の方法		北見市ホームページ										
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期																												
北見市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに従って評価	H29年3月																												
	公表の方法																												
	北見市ホームページ																												
交付対象事業	A 基幹事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考													
A-1	住宅	一般	北見市	間	北見赤十字病院	北5東2地区暮らし・にぎわい再生事業(北見赤十字病院整備事業)	医療施設の改築・改修等 23,819	北見市	H22	H23	H24	H25	H26	H27	1,800														
A-2	住宅	一般	北見市	直	北見市	北見市	ビル増築、改修	北見市							2,284														
A-3	住宅	一般	北見市	直	北見市	北見市	駅周辺地区暮らし・にぎわい再生事業	北見市							2,489														
A-4	住宅	一般	北海道	直	北海道	北5東2地区暮らし・にぎわい再生事業(道立北見病院整備事業)	医療施設の改築 2,911㎡	北見市							416														
合計															6,989														
B 関連社会資本整備事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考												
										H22	H23	H24	H25	H26	H27														
合計															0														
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																	
C 効果促進事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考												
C-1	施設整備	一般	北見市	直接	北見市	-	地域交流案内標識整備事業	観光案内看板の設置	北見市	H22	H23	H24	H25	H26	H27	5													
C-2	施設整備	一般	北見市	直接	北見市	-	省エネルギー設備学習事業	省エネルギー設備の設置	北見市							58													
合計															63														
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																	
C-1	案内標識を設置することにより北見赤十字病院(A-1)と図書館(A-3)の回遊が促され中心市街地のにぎわいが高まる																												
C-2	自然エネルギー設備を活用した社会教育施設(A-3)として環境図書等にかかる情報を発信し、学習機能のある施設として中心市街地のにぎわいが高まる																												
(参考) 関連事業																													
番号	事業名							事業主体				備考																	
1	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅整備事業)							北見市				借上市営住宅の整備 65戸																	
2	駅前広場整備事業							北見市				駅前広場の整備 S=6,900㎡																	
3	小公園整備事業							北見市				小公園の整備 S=7,600㎡																	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

都市機能としての文化施設、医療施設を整備することで利便性が向上したことから、まちなかにおける人の回遊性の生成が期待される。  
平成27年12月にオープンした北見中央図書館では、開館から1年で来館者数35万4千人、貸出冊数50万冊など、来館者数は約3倍、貸出冊数も1.7倍となり、計画期間中の目標値には反映されなかったものの、期間外における通行量動態調査では確実に伸びが示される結果となった。

II 定量的指標の達成状況	指標① 中心市街地の週末歩行者通行量の測定	最終目標値	7,800人/日	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間内には増加傾向は見られず、目標達成には至らなかったが、H28においては前年を大きく上回る結果となり、徐々に事業効果が現れ始めたと思われる。</li> <li>・平成27年12月にオープンした中央図書館への集客が目覚ましく、中心市街地へのにぎわいの再生に大きく寄与している。</li> <li>・中心市街地の北東に位置する北見赤十字病院（平成26年12月本館開院）と道立北見病院（平成28年8月開院）の外来患者及び入院患者家族等が来院する際、公共交通機関の利用によるまちなかの通行量への影響も効果を發揮してきていると考えられる。</li> <li>・北見赤十字病院においては、新病院改築後、直近の年間外来患者数比較で3.4%の増を示し、新たに中心市街地に立地することとなった道立北見病院においては平成28年8月の開院以来翌年1月までで、外来患者数が延べ7,802人、月平均1,300人（速報値）となった。</li> </ul>	
		最終実績値 (H27)	5,785人/日			
	指標② まちなかにおける居住人口	最終目標値	4,500人			<ul style="list-style-type: none"> <li>・借上市営住宅整備事業等により、中心市街地に市営住宅の整備を進めた結果、平成21年から24年にかけて居住人口の増加が見られたが、少子高齢化の進展による人口の自然減並びに地方経済状況の悪化などにより、民間の住宅投資が不十分であったことから目標達成には至らなかった。</li> </ul>
		最終実績値 (H27)	4,480人			

週末歩行者通行量 (人/日)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
7,573	8,715	6,952	5,977	6,539	5,788	5,785	7,398
(基準値)						(期間外)	

居住人口 (人)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
4,422	4,505	4,570	4,616	4,580	4,445	4,480	4,411
(基準値)						(期間外)	

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

平成28年12月、駅前に大型宿泊施設がオープンし外部からの来客が見込まれるほか、中心市街地では平成27年9月に閉店した食料品店跡地において新たな食料品店がオープンするなど、まちなか居住者の利便性も向上し、今後、にぎわいを再生する要因として期待できる。

3. 特記事項 (今後の方針等)

中央図書館の利用者は、計画当初1日あたり476人の利用を見込んでいたが、中心市街地であることから1日約1,200人となり、利用者は約2.5倍となった。また、平成28年10月上旬に実施された北見商工会議所の中心商店街の歩行者通行量調査では、中央図書館が駅南にオープンしたことにより前年比3割増と大幅に回復し近年の減少傾向に歯止めがかかったとしている。今後も中央図書館として、図書館本来の機能である新鮮な資料の収集・提供をベースに学習スペースの提供やくつろぎ空間の提供、放送大学の設置、多目的視聴覚室での特色ある各種イベントの開催等を実施することで多くの市民にご利用いただき、中心市街地の賑わい創出に取り組んでいく。

また、中心市街地に位置する北見赤十字病院・道立北見病院で提供される高度医療は重要な生活インフラの一つとして住民になくてはならないものであり、病院利用者による歩行者通行量への好影響も継続して期待できることから、医療機能の維持・向上に対する支援を継続して実施する。

(参考図面) 地域住宅支援

